



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 ムーンバット株式会社

コード番号 8115 URL <http://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 中村 卓司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 山田 隆二

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,640	△2.1	1,050	△8.0	1,093	△5.1	663	△7.3
24年3月期第3四半期	10,866	△2.1	1,142	2.1	1,152	3.1	715	61.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 681百万円 (△3.8%) 24年3月期第3四半期 708百万円 (64.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.96	—
24年3月期第3四半期	26.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	11,678	7,540	64.6	284.33
24年3月期	11,225	7,004	62.4	263.31

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,540百万円 24年3月期 7,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,730	0.5	1,160	△4.9	1,150	△7.6	720	△7.7	27.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社グローリー、除外 1社 (社名)
詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5(「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」)に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	26,708,668 株	24年3月期	26,708,668 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	189,748 株	24年3月期	109,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	26,591,263 株	24年3月期3Q	26,600,607 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、長引く円高・株安、欧州の債務危機、世界経済の減速懸念などにより、厳しい状況が続いておりましたが、金融緩和・デフレ脱却による景気回復への期待感から円安傾向となり、株価上昇の動きも見られました。個人消費につきましても、消費マインドの冷え込み等により百貨店の売上も伸び悩みましたが、下げ止まりの兆しも出てきております。

このような環境下、当四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同四半期比2.1%減の106億40百万円となりました。その主な要因は次のとおりです。百貨店向け販売はほぼ前年同四半期並みで推移いたしましたが、チェーンストア向け販売は低調に推移しました。商材別に見ますと、雨傘の販売につきましては、春夏シーズンは好調に推移いたしましたが、その後降雨量が減少した影響により低調となり、前年同四半期を上回ることができませんでした。パラソルの販売につきましても、セール開催時期の分散化、及び天候不順等により、7月後半からの猛暑が続いたにもかかわらず前年同四半期を上回ることができませんでした。洋品の販売につきましては、秋の立ち上がり時は残暑の影響により苦戦いたしましたが、11月以降の気温低下により促進され、前年同四半期を上回ることができました。帽子の販売につきましては、秋冬物は堅調に推移いたしましたが、春夏物の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

損益面では、海外生産増加及び円高によるコストダウン効果等がありましたものの、中国生産にかかる人件費アップや原材料の高騰などにより、粗利益率は前年同四半期比0.5ポイント下落いたしました。販売費及び一般管理費が前年同四半期比58百万円減少しましたものの、減収及び粗利益率ダウンによる利益減少をカバーしきれず、営業利益は10億50百万円（前年同四半期比8.0%減）、経常利益は10億93百万円（前年同四半期比5.1%減）、四半期純利益は6億63百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ4億53百万円増加して116億78百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が6億46百万円増加したこと、のれんが88百万円増加したこと、土地が40百万円増加したこと、商品及び製品が21百万円増加したこと、仕掛品が18百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が15百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が3億84百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ、82百万円減少して41億38百万円となりました。この主な要因は、長期借入金3億29百万円増加したこと、返品調整引当金が3億26百万円増加したこと、未払法人税等が2億1百万円増加したこと、1年内償還予定の社債が4億円減少したこと、短期借入金2億92百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が2億36百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ、5億36百万円増加して75億40百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益を6億63百万円計上したこと及び剰余金の配当を1億32百万円実施したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期の連結業績予想につきまして、平成24年5月11日に公表した数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、株式会社グローリーの自己株式を除くすべての株式及びエクセレントスタッフ株式会社のすべての株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,047,213	1,694,110
受取手形及び売掛金	2,926,080	2,542,028
商品及び製品	2,622,990	2,644,962
仕掛品	1,372	20,338
原材料及び貯蔵品	23,317	38,794
その他	320,671	428,806
貸倒引当金	△50,000	△29,000
流動資産合計	6,891,646	7,340,040
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,312,469	2,353,208
その他(純額)	548,734	560,987
有形固定資産合計	2,861,203	2,914,195
無形固定資産		
のれん	4,585	93,089
その他	107,460	104,098
無形固定資産合計	112,045	197,188
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,063,626	992,521
その他	381,437	322,558
貸倒引当金	△88,188	△88,022
投資その他の資産合計	1,356,874	1,227,057
固定資産合計	4,330,124	4,338,441
繰延資産	3,770	401
資産合計	11,225,541	11,678,882
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,498,233	1,261,949
短期借入金	656,000	363,568
1年内償還予定の社債	700,000	300,000
未払法人税等	144,171	345,341
賞与引当金	90,820	40,544
返品調整引当金	118,200	444,800
その他	401,937	428,718
流動負債合計	3,609,362	3,184,923
固定負債		
長期借入金	—	329,684
退職給付引当金	329,670	342,915
その他	282,471	281,141
固定負債合計	612,141	953,740
負債合計	4,221,503	4,138,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,339,794	3,339,794
資本剰余金	1,039,578	1,039,578
利益剰余金	2,652,988	3,183,636
自己株式	△13,925	△26,095
株主資本合計	7,018,435	7,536,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603	737
繰延ヘッジ損益	10,209	23,234
為替換算調整勘定	△25,210	△20,667
その他の包括利益累計額合計	△14,397	3,305
純資産合計	7,004,037	7,540,218
負債純資産合計	11,225,541	11,678,882

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,866,376	10,640,428
売上原価	5,803,666	5,738,489
売上総利益	5,062,709	4,901,938
返品調整引当金戻入額	125,000	118,200
返品調整引当金繰入額	462,300	444,800
差引売上総利益	4,725,409	4,575,338
販売費及び一般管理費	3,582,891	3,524,781
営業利益	1,142,517	1,050,556
営業外収益		
受取利息	2,833	2,298
受取配当金	173	251
為替差益	4,497	23,225
不動産賃貸料	35,775	19,997
貸倒引当金戻入額	6,166	21,166
その他	6,010	10,974
営業外収益合計	55,456	77,914
営業外費用		
支払利息	18,478	11,635
支払手数料	8,250	8,250
その他	18,810	15,378
営業外費用合計	45,539	35,264
経常利益	1,152,434	1,093,206
特別損失		
減損損失	77,568	—
特別損失合計	77,568	—
税金等調整前四半期純利益	1,074,866	1,093,206
法人税、住民税及び事業税	571,610	520,194
法人税等調整額	△212,368	△90,634
法人税等合計	359,242	429,559
少数株主損益調整前四半期純利益	715,623	663,646
四半期純利益	715,623	663,646
少数株主損益調整前四半期純利益	715,623	663,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△353	134
繰延ヘッジ損益	△2,204	13,025
為替換算調整勘定	△4,913	4,542
その他の包括利益合計	△7,471	17,702
四半期包括利益	708,152	681,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,152	681,349
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,365,268	8,501,107	10,866,376	—	10,866,376
計	2,365,268	8,501,107	10,866,376	—	10,866,376
セグメント利益	579,028	813,397	1,392,426	△249,908	1,142,517

(注) 1. セグメント利益の調整額△249,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントには配分していない賃貸不動産において、売却の意思決定を行なったため、当該帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(77,568千円)として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,288,025	8,352,402	10,640,428	—	10,640,428
計	2,288,025	8,352,402	10,640,428	—	10,640,428
セグメント利益	543,267	748,363	1,291,630	△241,073	1,050,556

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,073千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間より、株式会社グローリーの自己株式を除くすべての株式及びエクセレントスタッフ株式会社のすべての株式を取得し、当社の連結子会社といたしました。

なお、当該事象によるのれんの発生額は「衣服装飾品」において7,594千円、「身回り品」において82,056千円であります。